

赤十字へのご支援・ご協力 ありがとうございます

県内市町村の日赤事務局を通じてお寄せいただいた活動資金の募集状況及び令和4年度の主な活動を報告します。
いのちをつなぐ9つの赤十字事業のうち、医療事業・血液事業・社会福祉事業は除きます。

令和5年度日赤活動資金の募集状況（令和5年9月末日）

募集実績額（見込） **238,719千円**

募集目標額 **300,000千円**

（参考：令和4年度実績額 **252,549千円**）



令和4年度 皆さまからのご寄付で実施した主な活動と収支決算

※ 各詳細は「令和4年度事業報告」に掲載しています。



○赤十字講習会等の実施

いのちと健康を守る知識や技術に役立つ講習会を各地で開催し、多くの皆さまが受講されました。

救急法等の講習：477回・10,643人、防災セミナー：75回・2,516人

○災害救護資機材等の整備

今後起こり得る大規模災害に備えて、県内の市町村及び赤十字施設に整備しました。

災害用自動車：2台、ヘルメット：175個、安全靴・空調服：225セット、災害業務用無線：1機

○日本赤十字社第3ブロック支部合同災害救護訓練の実施

大規模災害に備え、近隣県と連携した迅速かつ効果的な救護活動の展開を目指し、諏訪市にて訓練を行いました。

参加人数：440人、参加・協力機関：長野県、諏訪市、諏訪広域消防本部、諏訪地域災害時医療対策委員会

令和4年度 決算報告

収入

収入合計 **353,442千円**

内訳

個人からの活動資金	277,540千円
法人からの活動資金	23,185千円
委託金及び交付金収入	3,617千円
資金繰入金	34,248千円
資産収入及び雑収入	13,555千円
前年度繰越金	1,287千円

支部施設の維持管理に

49,161千円

事務管理のために

47,683千円

赤十字思想の普及と

会員の増強に

32,895千円

いのちを救う活動に

97,852千円

赤十字奉仕団の育成、
青少年赤十字活動に

33,821千円

国際活動、赤十字の
全国事業のために

45,859千円

各市町村の
赤十字事業の推進に

46,171千円

支出

支出合計 **353,442千円**

※ 歳入・歳出ともに災害義援金預り金等は除いています。

「もしもの時」に 備えるためには

今！！



東日本大震災等、過去の災害の教訓を踏まえ、将来、高い確率で発生が予測されている南海トラフ地震等の大規模災害や近年多発している自然災害から人々のいのちを守るためには、地域コミュニティにおける「**自助**」「**共助**」のチカラを高める防災教育が極めて重要となっています。

災害から、地域住民が自らのいのちを守り、被災に伴う心身の苦痛を軽減するため、地域住民の防災・減災に関する知識・意識・技術の普及向上と、地域における災害発生時の応急対応にあたるボランティアの育成を行っています。

地域防災力の向上 **防災セミナー**

赤十字防災セミナーでは、避難所運営の一員として、避難者の受け入れから部屋割りなどを机上模擬体験を行う避難所体験ゲームや家具や家電などの転倒・落下・移動防止策を考え、自宅を見直す際の気付きや知識を学ぶことができます。



奉仕団への活動 **ボランティアの育成**

防災・減災に関する知識・意識・技術の普及向上や地域コミュニティ形成への寄与を目的に、日赤長野県支部防災教育アドバイザーを養成しています。アドバイザーは、地域赤十字奉仕団員へ防災・減災に関する講習を行っています。



青少年赤十字 **子供たちへの防災教育**

「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん!」では、年齢対象を4歳以上とし、自らの迫る「きけん」を「はっけん」し、どのような行動をとるべきか、間違った行動をとるとどうなるかなどを学べるプログラムです。



青少年赤十字 **未来を担う子供へ**

「まもるいのち ひろめるぼうさい」では自然災害から自分のいのちは自分で守り、家庭や学校、地域において防災意識を広め高めることができる青少年を育て、思いやりや優しさ、いのちの大切さを養うことができる小・中・高校生向けの教育プログラムです。



講座名	内 容	時間／対象年齢
ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん!	災害時の危険(場所・行動)について伝え、自分の身を守るための基本的な知識や判断力を育みます。	30分から／4歳から
まもるいのち ひろめるぼうさい	いのちの大切さを学び、「気づき・考え・実行する」を重視したコミュニケーション力、想像力などを養うグループワークプログラムです。	50分から／ 小学生から
屋内での安全対策 ・家庭内DIG ・室内チェックリスト ・屋外チェックリスト	家具や家電などの転倒・落下・移動防止策を考え、自宅を見直す際の気付きや知識を学べます。	40分から／全年齢
避難所体験ゲーム	避難所運営の一員として、避難者の受け入れから部屋割り、トイレ問題、ベットの対応などを机上模擬体験します	1.5時間から／ 高校生以上

